



四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ会報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail: info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL: 046-222-5811 Fax: 046-222-5821

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度

RIメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

厚木県央ロータリークラブ テーマ

「心に響く親睦 心に響く奉仕」

会 長 山口 昌興

副会長 土屋 義行

幹 事 佐藤 新也

第1216回例会(2025年11月7日)

■点鐘 …山口昌興会長

■斉唱 …

■ゲスト紹介



地区財団資金推進・ポリオ委員会 委員長
富岡弘文様(大和RC)

■スマイル

富岡弘文様(大和RC)

おひさしぶりです！今日は、分かりやすいお話しができればと願っております。どうぞよろしくお願い致します。

山口昌興会長・佐藤新也幹事

今日は職業奉仕委員会の卓話例会です。大和ロータリークラブ財団資金推進ポリオ委員会富岡委員長、ようこそお越し頂きました。今日はどうぞよろしくお願い致します。

職業奉仕委員会

和田貴樹君・岡見 健君・春日清則君

立脇孝二君・松澤修身君・川名貴之君

地区ロータリー財団委員会 財団資金推進・ポリオ委員

会 委員長 大和ロータリークラブ所属 富岡弘文様、本日はお忙しいところ、厚木県央ロータリークラブの例会へお越しくださいまして誠にありがとうございました。「ロータリー財団」の卓話、とても楽しみにしています。本日はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

奉仕プロジェクト委員会

井 寛明君・臼井欽一君・松本 豊君・岸野義人君

先週の献血例会ご参加ありがとうございました。今回、受付61名、採血59名となり昨年を上回りました。ありがとうございました。

松本 豊君

富岡財団ポリオ委員長、嫌いな和田先輩が居る我がクラブにお越しいただきありがとうございます！本日は卓話宜敷くお願い致します。さてワールドシリーズ、私は特にドジャースファンではありませんが、面白かったです！全てのポイントでトロントの方が勝っていたのに優勝できなかったのは、ブルージェイズに山本由伸がいなかった。ただそれだけだそうです。山本と言えばヤクルトとの日本シリーズもオリンピックのせいで12月頃まで投げていたのを思い出します！

守屋孝則君・森 志朗君・臼井欽一君・遠藤典孝君

神崎 進君・荻野洋一君・大谷 元君・北村正敏君

新川 勉君・田口幸一君・能勢健一君・今井美咲君

関原敏文君・三竹厚行君・武藤元秀君

スマイルボックス

■会長タイム



皆さん、こんにちは。まずは先週の献血活動、大変お疲れさまでした。多くのご協力をいただき、地域に貢献するロータリーらしい素晴らしい活動になりました。ご参加くださった皆さんに、心から感謝申し上げます。

さて、本日は新しいメンバー大谷元さんをお迎えしています。ようこそ私たちのクラブへ。どうぞ一緒に、笑顔と友情あふれるロータリーライフを楽しんでください。

さて、11月はロータリー財団月間です。本日は、地区ロータリー財団資金推進・ポリオ委員会の委員長、富岡弘文様をお迎えしております。富岡委員長には、財団の活動意

義やポリオ根絶への取り組みなど、私たちが支援を続けるべき理由を改めてご講話いただきます。ロータリー財団は、世界に平和と笑顔を届ける“心の貯金箱”。ちょっとした寄付と、たくさんの思いやりが未来を動かします。どうぞ本日の卓話をきっかけに、また一緒に「良いこと貯金」を増やしていきましょう。

■今日のお花



バラ（中国西南部）

花言葉（美・愛・優雅・感謝）

ガーベラ（南アフリカ）

花言葉（希望・前向き）

■例会「ロータリー財団について」

担当：職業奉仕委員会

講師：地区財団委員会 財団資金推進・ポリオ委員会 委員長 富岡 弘文様(大和RC)

テーマ：ロータリー財団 ― 寄付のその先にあるものは何か

1.ロータリー財団の目的と役割

富岡様は冒頭、「ロータリー財団は、ロータリアンの思いを世界中の善意に変える仕組みである」と述べ、財団の存在意義を強調されました。

財団の寄付は単なる募金活動ではなく、“世界に希望を生み出すための投資”であり、教育・保健・平和構築など、持続的な支援を通じて地域社会の発展に貢献していることを紹介しました。

2.ポリオ撲滅活動 ― ロータリーの誇り

ロータリー財団の代表的な取り組みとして、「ポリオ撲滅運動(End Polio Now)」が紹介されました。

1985年にロータリーが世界的な活動を開始して以来、ポリオは世界125か国からわずか2か国(アフガニスタン、パキスタン)にまで減少。

世界保健機関(WHO)やユニセフ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との協力により、約25億人の子どもたちにワクチンが届けられたという成果が示されました。

富岡様は、「ポリオが根絶されるその日まで、ロータリーは最後の一人の子どもにワクチンを届け続ける」と強調し、継続支援の重要性を呼びかけました。

3.寄付の使途とその循環

財団への寄付には、年次寄付・恒久基金・ポリオプラス寄付の3つがあり、それぞれ目的と役割が異なることを説明されました。

- ・年次寄付：3年後に地区に還元され、奨学金、職業奉仕、国際奉仕などに活用。
- ・恒久基金：元本を保全し、運用益で継続的に支援を行う仕組み。
- ・ポリオプラス寄付：ポリオ根絶専用基金として活用。ゲイツ財団のマッチングにより、寄付の効果が倍増。

寄付は「使い切るお金」ではなく、「世界を変える資金の循環」として生き続けていると説明。

自らの寄付が3年後、誰かの教育や命の支援となって還ってくることを強調されました。

4.会員へのメッセージ

最後に富岡様は、「財団への寄付は、私たち一人ひとりの奉仕の心を世界につなぐ行動」だと語り、クラブとして継続的に関心を持ち、理解を深めることの大切さを訴えられました。

「寄付は義務ではなく、誇りであり感謝の形です」という言葉で卓話を締めくくられました。

まとめ

ロータリー財団は、単なる資金団体ではなく、ロータリアンの奉仕の心を具体的な行動へと変える仕組み。

ポリオ根絶という世界的課題の達成に向けて、私たち一人ひとりの寄付が確実に役立っていることを再確認できる卓話でした。

■四つのテスト



森 志朗君

■ソングリーダー



荻野洋一君

■新会員紹介



大谷 元君

■厚木市柔道大会支援金贈呈



■お祝い行事 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 会員誕生日

荻野洋一君 (10月17日)



■出席報告 <会員 37 名、出席対象 34 名>

11 月 7 日例会	出席 28 名	欠席 6 名	出席率 82.35%